

平成22年度 文学部シラバス

授業科目の区分	専門科目						
【H18-22年度入学者】 講義番号	012327	授業科目(18-22)	行動科学課題演習	配当年次(18-22)	3	重複履修の可否(18-22)	可
【H16,17年度入学者】 講義番号	012327	授業科目(16,17)	行動科学課題演習	配当年次(16,17)	3	重複履修の可否(16,17)	可
講義題目	心理学講読演習						
学期	後期	曜日	金	時限	3	単位数(16-22)	2
他学部学生の履修	否						
担当教員	長谷川 芳典						
電話番号	086-251-7402						
Eメールアドレス	http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html 参照						
オフィスアワー	水曜2限目（Eメールで予約をとる場合は、 http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/mail.html を参照）						
授業の概要	<p>卒論研究の前段階として、心理学関連の学術雑誌や書籍を教材とした講読演習を行う。</p> <p>教材は英語文献と、日本語の学術雑誌論文・書籍文献とする。</p> <p>英語文献については担当教員の講読と、日本語文献については、受講生自らが要約とコメントからなるレビューを毎回提出し、さらにその内容について口頭発表を行う。</p> <p>受講生は、期末までに、自ら読んだ諸文献に基づいて、1つのテーマについての「プレ総説論文」を作成する。</p>						
学習目標	<p>卒論研究に必要な文献読解力を磨く。また、各種研究論文について、多面的な批評や提言を行う力を養う。</p>						
授業計画	<p>3年次生に対して、指導教員が講読主体の研究指導を行うための授業。</p> <p>指導教員が指定した文献、もしくは受講生が自ら選んだ文献について、毎回、文献レビューをファイルにまとめ、ネット上で公開する（一部はゼミ内のみ公開）。</p> <p>ローテーションに基づき、定期的にそれらを口頭発表。同時に、ゼミ内の学部生・院生の発表内容についてコメント。出席して新たに学んだことをシャトルカードに記入。</p> <p>◆ルールは以下の通り◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題提出：毎週、文献レビューを1篇以上提出する。 ・毎回の授業に出席し、必ず1度以上発言をする。 ・シャトルカードに、その回に新しく学んだことを5行程度で記す。 ・次の授業までのあいだに、各ゼミ生の非公開掲示板に発表内容等についてのコメントや参考情報などを書き込む。 						
受講要件	<p>3年次前期までに受講可能な心理学領域の科目（行動科学実験調査演習、概説、講義、演習等）をすべて履修していることが望ましい。</p> <p>受講にあたっては、インターネットを利用してゼミ専用サイトにアクセスできること、Eメールでファイルの添付を含む送受信ができることが必要。</p>						
教科書	<p>専用Webサイトにて紹介。</p> <p>http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/</p>						
参考書等	<p>専用Webサイトにて紹介。</p> <p>http://www.okayama-u.ac.jp/user/hasep/</p>						
成績評価	<p>授業計画に記した通りのルールにより、毎回の課題提出（60点満点。期末に提出するプレ総説論文を含む）、シャトルカード記入（40点満点）、ゼミ掲示板上で的一定回</p>						

	数以上のコメント書き込み（回数の不足があれば最大40点分まで減点）。
研究活動との関連	担当教員は、行動分析学、心理学方法論、学習心理学を専門としている。
コメント	<p>【認定心理士 I】</p> <p>当該授業時間のほか、4限目に行われる卒論生向け課題演習に出席し、討論に参加することができる。また、12月下旬に実施予定の卒論直前発表会に参加し、討論することを強く推奨している。</p> <p>詳しくは、長谷川ゼミ専用のWebサイトを参照されたい。</p> <p>次の授業までのあいだに、各ゼミ生の非公開掲示板に発表内容等についてのコメントや参考情報などを書き込むこと、また、毎回、英語文献についての予習と、日本語文献レビューの課題ファイルを作成し提出することが必要である。</p>